鎌倉アップデートLetter

Vol. 9

一期4年、みんなの声で
社会はこんなに変えられた!!
みなさま読んで
驚いてください!

1・インクルーシブ公園実現！
2・保育園の新設実現！
3・学校と公共施設トイレに
生理用品設置実現！
まだまだあるよやったこと！

鎌倉アップデートチャレンジ

現職 鎌倉市議会議員

藤本あさこ

初 任期・4年間 の活動報告

61の実績

これからも取り組みたい50のアップデート

藤本あさこ PROFILE

1985年4月2日生まれ。
3歳から材木座でヨットに乗り始める⛵七五三は八幡さまにて🙏
・横浜国立大学教育学部付属横浜小学校　卒業
・横浜国立大学教育人間科学部附属横浜中学校　卒業
・東京工業大学付属工業高等学校建築学科　卒業
・首都大学東京（現・東京都立大学）システムデザイン学部　卒業
・東京電力株式会社、アビームコンサルティング株式会社を経て
2021年 鎌倉市議会議員選挙にて初当選🎊
無所属新人にして
・会派立ち上げ、会派「鎌倉アップデートチャレンジ」幹事長就任
・教育福祉常任委員長、広報特別委員会副委員長就任

インスタ・FBでイベントや行政の情報、
活動内容を毎日配信中！

INFORMATION

2025.4/11(Fri)
19:00 長谷の古民家 ゆりいかにて
「鎌倉アップデートアカデミア」開催
ゲストは、元東京都知事選候補者の安野貴博さんチームを予定しています💡デジタル民主主義についてじっくりお話しましょう✊

2025.4/12(sat)
鎌倉エリアのカフェにて（詳細はSNSにて告知）
「議員カフェVol.14」開催
選挙前最後の議員カフェになります！
いろいろ気になってることみんなで話そう～✨

COME ON!

鎌倉アップデートチャレンジ
鎌倉市議会議員 鎌倉の明日をつくる、みんなの声で！
藤本あさこ

日々の活動報告 鎌倉アップデートチャレンジ
fjmtmaco / fujimoto_asako / fujimotoasako2021@gmail.com
Fujimoto_Asako / @618zlalm
討議資料 発行責任者：藤本あさこ
WEB SITE

SECTION1 政策提言

子ども・若者の権利

1 青少年のための居場所整備
鎌倉市内で青少年の居場所がないという声が多くあったが、青少年だけのための居場所を整備してほしいと提言したところ、青少年会館のリニューアルという形で、市内で初めてのユースセンターを整備していただくことができました。

2 ならいごとクーポンの導入
自身の視察してきた自治体の先進事例から、こどもたちの学習環境格差是正のために、スタディクーポンを導入している事例を知りました。そこで鎌倉市においても令和4年から本事業について提言を続け、令和6年についに「教育格差」解消クーポンという名称で鎌倉市でも事業がスタートしました！

3 車内放置防止の啓発活動
昨今の夏が猛暑で、車内にこどもを置き去りにした死亡事故が相次いだため、こどもを社内置き去りにしないでという啓発が必要ではと提案した。実際に置き去りは虐待の要素もあると、お伝えしたところ、市長部局のほうで「車内の子供の置き去りは虐待です」という、行政としては珍しい語気の強い啓発ポスターを市内中に掲示いただきました。

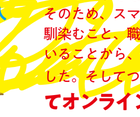
子育て支援

4 待機児童問題への継続的な取り組み
当選直後から、待機児童の解決について追及してきました。毎年同じ質問を市長にしてきたところ、何年も変わらなかった政策の大きな方針転換として**令和7年度からの保育園4園の新設を決めてくれました!!!!**長いこと鎌倉市の歴史に存在していた待機児童という社会課題について、ついに歴史を変える大きな政策転換が起きたと言えます。

5 一か月検診費用の補助
妊娠出産に関する費用が高額である、一歳児検診にかかる費用はこれまで全額実費だったが、一か月検診費用の無償化を提言したところ、**令和6年度より3,000円の補助制度を作ってもらうことができました。**

6 障害児支援の無償化
小児医療費の無償化の拡大が先行して実施されたが、実際には障害児支援も優先度が高いのではと考え、さまざま健常児よりも費用のかかる障害児支援に関する所得制限の撤廃を提言してきました。その結果、こちらも大きな政策転換として、所得制限も撤廃となり無償化が実現しました！！！

7 オンライン入園申請導入



保育園の入園申し込み書類は非常に煩雑で、同じ内容を何度も書く、など小さな子供を育てながら申請するには大変な作業です。そのため、スマホを使いこなす子育て世代にはオンライン申請が馴染むこと、職員側も集まった資料を裁くことに工数がかかっていることから、保育園申請手続きのオンライン化を提言してきました。そしてついに、**令和7年度分からの申請に関してオンライン化が実現**することになりました！！

8 ファミリーサポート登録場所の拡大
ファミサポの登録場所が玉縄行政センターのみで、こどもが生まれたばかりの親が出向くことが非常に負担であったため鎌倉エリアにも登録場所を整備できないか提言したところ、**鎌倉市役所への出張登録を始めてくれました！**

9 産後ケアの負担軽減
産後ケアの補助はあったもののやはりまだ負担が大きいということで産後ケアのさらなる負担軽減を訴えていました。
令和6年4月から補助額をアップしていただき、負担軽減が実現することになりました！

10 ベビーシッター利用補助の拡充
鎌倉市では待機児童もまだいるため、ベビーシッターの補助をしてほしいと提言してきました。ファミリーサポートの利用補助については既にありましたが月額の利用上限がなんと毎月10時間ととても少なかったところを、この上限を月に20時間と倍増していただくことができました。

11 市役所手続き時のキッズスペース設置
市役所での手続きの際に、子連れの市民は大変な思いをしている。子どもを預けられる託児室やキッズスペースの必要性を提言してきたところ、子育て対応ワンストップ窓口の第6分庁舎にてキッズスペースを設置していただくことができました。

12 兄弟で異なる園に通う場合の無償化
市内では、第二子は保育料が無償とされているが、一人目が認可、二人目が認可外･･･のときに二人目の無償対象外となっていた。市内ではレアケースのため、なかなか改善されるきかっけがなかったが、その少ないケースでも不条理を訴えて、ついに変更となり、兄弟で認可・認可外の保育園利用をしている家庭でも第二子無償化の対象となりました！

13 民間事業者による居場所の情報提供
市内の子ども会館14か所を閉鎖されたことにより、市内の子どもの居場所がなくなっていたが、市内の民間事業者さんが開いてくれている居場所はいくつかある。その情報を一覧にして市民に提示したり、またその居場所事業の立ち上げサポートや運営支援を行政で実施してくれることになりました！

14 ホームページの改善
子育てまんなか、という割には子育て情報がホームページで検索しにくく、子育て情報のトップページには市長の動画が置いてあることは、子育て世代目線とは言えない、と提言し、ホームページの構造を変えていただきました。

インクルーシブな学び

15 スクールロイヤーの配置
学校でのいじめやトラブルの仲裁に教職員のスキルのみでは対応できないため、専門スキルを持つスクールロイヤーの設置を提言したところ、**令和6年度からのスクールロイヤーの採用と配置を実現**していただきました！

16 学校内フリースペースの設置
不登校の対応の前段としてメンタル不調や不登校防止のための対応としてどんな状況でもいやすいサードプレイスとしての場所が必要だ、と提言してきたところ、令和6年度から各学校内にフリースペースの設置をしていただくことになりました。ここでは教員ではない大人が見守ってくれます。ただ、そこへいくのに教員の許可が必要なことがあり、まだ完全に居場所にはなりきれていないので引き続き提言を続けていきます。

17 多様な学びの場の経済的負担軽減
不登校状態にある児童生徒や、経済的事情のある家庭など、現状、学びにアクセスできていないこどもたちが、別の学びのために多額の費用がかかっています。このような不均衡の是正のため、多様な学びの場に関しする経済的な負担軽減措置を提言してきたところ、令和5年9月から、**フリースクール助成制度が実現しました!!**県内でも先進して実施されました！

18 発達支援サポーターの待遇改善
発達支援サポーターの待遇改善を提言したところ、令和5年度から有償ボランティアから会計年度職員へ待遇改善していただくことができました！

19 子ども議会の活性化

これまでの子ども議会については「形式を体験する」という目的であり、子ども議会で質問された提言を市政に反映させるものではないとされてきていた。取り組み自体に多くの人や関わり実現している大型イベントなだけに、実効性がないことが非常にもったいないと感じ、意味のある子ども議会の実現についてずっろ提言してきていました。また、質問する内容も教員に検閲されていたり、代表生徒が学校の代表性をあまり帯びずに、先生から指名されていたりして、形骸化していました。この提言を続けた結果、令和7年度から、**学校の代表としての生徒の選出手法をとることに変更！**最初は全く問題意識のなかった教育委員会でしたが、繰り返しお伝えしてきた結果、変更していただくことができました！！

ジェンダーギャップ是正

20 同居条件の撤廃
鎌倉市の制定したパートナーシップ制度は当初、ペアが同居している、ということが条件にされていました。これは、同性カップルが入居できる不動産物件がすくないという社会情勢を鑑みて、同性カップルの利用に対してのハードルになっている、という視点から改革を提言し、パートナーシップ制度の同居条件については撤廃をしていただきました。現在は、同居していなくても本制度は利用できます。

21 事実婚カップルへの周知
パートナーシップ制度の認知と広がりが少ないという課題について、パートナーシップ制度の説明について、事実婚の場合にも利用できるという旨を記載してほしいと提言。ホームページに、事実婚の場合にも活用できる旨を掲載いただきました！

22 パートナーシップ申請日の柔軟化
当初の鎌倉市のパートナーシップ制度は、申請可能日が平日の開庁時間に限られていました。しかし、利用者の方々それぞれに記念日に宣言したい、などのニーズがあることが予想されること、また法律婚ではそのような運用が実現している視点からも、日付を休日などにでも設定できるように提言しました。当初、答弁は消極的なものでしたが、その後制度の変更を行っていただき、**現在は希望の日付で宣言ができる**ようになっています。ご安心ください！

23 まちづくりにおける男女比のバランス改善
鎌倉市における委員のジェンダーバランスについて、建築分野は特に偏りがあるため、改革を提言しました。
その後、これまで全員が男性であったまちづくりコンサルタントのメンバーに女性を追加していただくことができました。

24 女性起業支援事業への託児サービス導入
鎌倉市の起業支援事業、「かまくら起業のススメ」では、女性の参加も促していたが、託児がついていなかったことについて、改善を要求しました。託児サービスをつけて実施していた年度では、託児があるからチャレンジできた、という市民の声もあったようで嬉しいです。

25 女性就労セミナーへの託児サービス導入
女性就労支援事業について、こちらも託児がなく、育児のブランクを経た女性をターゲットにしているにも関わらず託児がないことについては至急の改善を要求しました。こちらについては現在は託児サービスがついています。

26 生理の貧困対策（学校）

コロナ禍に、貧困家庭では生理用品が購入できずに利用を制限している児童生徒が日本中に多くいるということが明らかになりました。これを受けて、「生理の貧困」支援策として、**学校のトイレに生理用品を設置**し、自由に利用ができる環境整備を提言しました。
当初、教育委員会は「生徒がいたずらする」とか「返還必須の形での貸与はしている」などと反対の立場でしたが、コロナ禍において喫緊の課題であったため、議員提案の議決議案として提出したところ、総員挙手で可決され、議会をあげてのプッシュとなり、翌年から本格実施が始まりました。

27 生理の貧困対策（公共施設）
学校における生理用品の設置が決まって以降、**公共施設にも生理用品を置いていただく**よう提言してきました。そして翌年に実現いただきました。

28 避難所における性犯罪防止対策
令和6年2月の定例会にて、避難所における性犯罪防止のためにあらゆる施策をしていただきたいと提言し、中でも性犯罪を防ごうといった内容のポスター提示を提案しました。そして、すべての避難所へ性犯罪防止の注意喚起ポスターと性犯罪等に係る相談窓口の周知をしていただくことができました！！！

29 男性育休取得の実態調査
女性の社会進出には、男性の家庭進出がセットである、と提言し続けてきました。鎌倉市内の企業で働く男性にとっても育休の取りやすさは重要であり、その育休取得率についての公開と継続監視が必要と考え、**企業に男性の育休取得率を調査・公開**していただくことを提言。労働環境調査の令和6年度版より、調査項目に追加いただくことができました！！！

30 女性管理職比率向上
鎌倉市役所における女性管理職比率の低さについて、至急改善するように継続して提言してきました。目標数値にまったく達していないどころか年々低下している状況ではありますが、このご時世において目標数値を30%にすることなく、もっと高いレベルを目指していただきたいと執拗に提言してきました。それにより、**次期特定事業主行動計画の中では、女性管理職割合について40%と設定していただける**ということになりました！

まちづくり・防災・環境

31 普通救命講習の受講機会拡大
人気の「普通救命講習」はこれまで定員が8名で、受付開始日にすぐ満員になってしまっていたが、その定員増を提言したところ、現在は定員が15名程度となっています。また、実技指導以外についてはオンライン化の対応もいただきました。より多くの市民に受講いただける環境整備ができました。

普通救命講習Ⅰ
ウェブと組み合わせた講習。AEDを使用した成人の心肺蘇生法、止血法など。対象は市内の中学生以上。先着15人。
と き…2/9㈰ 10:00～12:00
ところ…深沢出張所
期 1/6の9:30以降に鎌倉消防署（☎24-0119）へ

32 遊具の更新スピード向上
公園の遊具についてはその更新の計画があり、計画より早く劣化・使用不可・撤去となった場合も、新設は計画通りとなっていたため、遊具が使えない時期がかなり長くあることが慣例になってました。それに対して、子どもの人生というものは大人よりもとても速いので、遊具の使えない時期が最小限になる形で更新していけないかと提言し、担当課とも直接やり取りした結果、年度内に使用不可になった遊具については次年度予算に修繕費用をつける、という運用に変更していただいたということ！！！スピード感が全く変わりますね！！！よかった！！！！

33 インクルーシブ公園の整備

前回の選挙のマニフェストでもある**「鎌倉市内へのインクルーシブ公園の整備」**について、当選して最初の議会から提言してきました。市民ワークショップをしたり職員も巻き込んだりして理解を広め、なんと任期中に整備が完成しオープンまでも初任期中に実現することができました！！！

34 インクルーシブ公園の推進
次年度に趣旨看板の設置が決定！NZの大学などで掲示されている「差別を許さない」という看板を例に出して、この公園が鎌倉においてどのような存在であるか、まちとして目指すインクルーシブな社会について記す看板等の設置が必要と提言しました。最初のオープン時には設置されませんでしたが、継続して提言してきたことで、令和7年度には「インクルーシブな場である」といった内容で日英併記の趣旨看板の設置をしてもらえることになりました！！！

35 避難所のインクルーシブ
避難所の中では、多国籍の方々が避難されてくる。難しい漢字や言葉遣いが分からなかったり、非常時に使われる日本語に慣れてない方もいます。避難所における情報伝達やコミュニケーションを円滑にするために、平易な言葉遣いに置き換えた「やさしい日本語」を使ったものや、イラストなどが併記されている分かりやすい案内表示などを導入していただきたいと提言し、イラストカードを避難所に設置頂きました！

市民参画

36 投票率向上のための投票済証デザイン刷新

投票済証をかわいくしたり、コレクティブなデザインにしてはどうかと提言してきました。するとすぐに、これまでの地味なデザインから、**安野モヨコさんデザインの投票済証**に実施初県印刷のものでしたが、市民に人気を博したため、次回以降はカラーの厚紙印刷となりました！！！！

37 子連れでの選挙活動に関する課題解決

立候補を目指して活動する子育て中の方が、仕事を辞めて無職になった際に保育園から退園になってしまう問題について、総務省に提言し、**立候補に向けた活動は求職中として扱われる、ということで保育園の入所を継続されるということが総理による国会答弁をいただきました。**市だけでなく国も動かした政策提言となり、ここまで大規模な動きにつながる一般質問をする地方議員は全国的にも希少！！！！

38 子連れ選挙活動に関する鎌倉市への適用

全国的な課題であった「子供を連れての選挙活動」に関して、おんぶしながら街宣をしていたら警察に通報された、などのケースが参議院選挙で話題になった。これは、小さなこどもを育てながらの選挙活動をする人が不利になってしまう状況を是正しようと総務省に赴き提言を繰り返しました。その結果、国会における総理答弁という形で**「子連れ選挙の公職選挙法における線引き」について明確化**していただきました。わたしたちの総務省訪問により作成いただいたQ&Aを鎌倉市でも展開するように、と鎌倉市議会で提案し、適用していただく旨、答弁いただきました。

39 投票行動に関する調査・分析
海外自治体で行っているような投票行動の分析を依頼しました。検討頂いている中で、新しい取り組みとして、二十歳の集いでブース出展し、若者たちに「投票にいったか」という調査をしていただきました！

40 視覚障害者への配慮
投票用紙のインクルーシブ化について、投票用紙を送付する際に封筒へ点字表示も依頼してきました。R6年の衆議院選挙から実現していただくことができました！！！

41 投票率向上に向けた広報・啓発
港区の事例として、投票日当日に公式ラインから現時点の投票状況を発信し、投票率が低い！行かないと！と市民に思わせる施策があり、鎌倉市でも実践してほしいと提案。R6年衆議院選挙から、時間ごとの投票率をTwitterで発信してくれました！！！

42 つながるエール事業の契約期間延長
市民の活動との協働事業である「つながるエール事業」は、市がカバーできていない領域を担ってくれている市民の活動に対して始まった当初は単年ごとの協働期間でした。これは継続性に欠けることから、より長い協働時間を設定してほしいと提言したところ、当初1年ごとだった契約期間が3年ごとになり、のばしていただきました！！

43 市民参加型の事業設計

インクルーシブ公園を作るにあたって、市民意見をとりたいという市のニーズも含めて市民とインクルーシブ公園に関するワークショップを開催！市の職員も参加いただき、たくさんの意見をきくことができました。市の職員巻き込んで市民ワークショップを開催した議員は史上初では・・・というくらいすごい！！！

44 関係部署との連携強化
インクルーシブ公園を整備するにあたり、みどり公園課だけのマターではなく、障害福祉課やこどもみらい部との連携も必須であると考え、提言してきた。そして、こども子育て会議でのみどり公園課の参加や、障害福祉課などと連携して地域の障害児サービス事業所とも連携してこえをきいていただくことができました。

45 自治会に関する情報提供
市の意見聴取の単位としている自治会・町内会。所属していないと声を聴いてもらう機会が減ってしまうことや、地域活動の継続性のためにも移住してきた方にも自治会に入会していただきたい。自治会の仕組みや活動について広報をしてほしいと提言してきたところ、R7.4に自治会の仕組みや紹介について広報かまくらに載せてもらえることになりました！！

SECTION2 行政改革

議会・行政改革

46 研修の充実
予算を作るときに根拠を持って作り、進めてもらうために、職員にロジカルシンキング等のビジネススキルの習得が必要ではと提言してきました。現在は管理職に向けたロジカルシンキング研修を導入していただきましたが、新人職員にも提供してほしいと引き続き提言しています。

47 男性職員の育児休業取得促進
男性育休の取得は、女性と異なり「とる / とらない」の選択をとることができる。男女共同参画のためには、男性の家庭進出が重要であり、雇用組織はそれを促す義務があると考える。そのため、女性の育休取得が必須であるように、男性の育休取得も基本的には「とる」前提で、「どれくらいとるのか」など上司から制度の説明と業務調整がされるようにしてほしい、という提言を続けてきました。その結果、市役所内では、子供が生まれたらまず男性も女性も育休はとる前提で進むような風土ができてきたと報告を受けています。

48 鎌倉市におけるハラスメント対策提言
小田原市でのハラスメント事案を受けて、神奈川県内自治体においてのハラスメント対応と条例化について調査を行い、地方議員団体にて記者会見を行った。その後の一般質問にて、鎌倉市のハラスメント対策は一定評価できるとともにさらなる実効性をもつように提言したところ、令和6年度の職員満足度調査においては初めて、首長と議員からのハラスメントについても調査いただけることとなりました！！

議会活動での実績

49 会派新規立ち上げ！
新人・無所属・女性議員で初？の会派の立ち上げと会派代表（幹事長）就任！！

50 ジェンダー政策勉強会の立ち上げ
鎌倉市議会で初のジェンダー政策に関する勉強会立ち上げを実施しました！！！！

51 当選して初の議会にて総員挙手獲得！
当選して初めての議会で、議員提案決議を提案。すべての会派と議員さんとすり合わせをして総員挙手をいただくことができました！これは全国でも例がないかもしれないのでは…

52 議会報告会のオンライン化

議会報告会が、市役所で対面のみで実施されており、現地まで来れない状況にある方の参加が難しい状況にありました。コロナ禍でもあり、市民参加が難しく、開催が危ぶまれた議会報告会でしたが、特別委員会にて新人ながらオンライン開催の提言をし、通信可能な手段など各課と確認しながらなんとか、鎌倉市議会初のオンライン開催を実施することができました。
その後の鎌倉市議会議会報告会では毎回オンライン開催がされています！

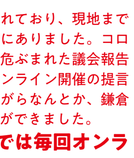
53 議員の住所公開必須を廃止
市議会議員はこれまで居住住所の部屋番号までホームページに掲載されており、子育て中の方などは不安を感じていた。当選して会派結成ができたため、会派幹事長会議にて提言の場を与えられ、議員住所の非公開を提言することができた。
2022年から鎌倉市議会では議員の住所を非公開とすることになりました。(※その後、事務所住所を公開したいという議員のため、選択式となりました)

54 議会報告会での託児所導入
議会報告会にて、子連れでくる場合に託児があるほうが良いという声から、広報特別委員会のなかで託児サービスの提供を提言し、議会報告会に託児サービスが整備されることになりました！！

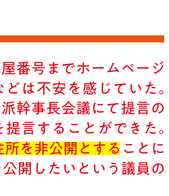
SECTION3 議会外活動

55 マニフェスト大賞受賞！
子育て中の女性でも、選挙に挑戦できるようにするためにサポートコミュニティの立ち上げと、子連れでも不利にならないように公職選挙法の子連れに関する明確化を国会にて提言。総理より国会答弁と、総務省からの通達を出してもらいました！！この取り組みが**全国最大の政策コンテスト「マニフェスト大賞」にて優秀賞**をいただきました！！！

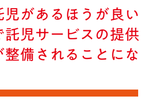
56 議員研修会の主催
鎌倉市の先進的な取り組みを、全国展開するため、全国の他自治体の地方議員向けに政策勉強会を5回実施しました。文字通り全国、福井県や宮崎県などの自治体からも参加いただき、全国アップデートチャレンジを進めてきました。



57 各種メディアから取材依頼が！記事掲載により全国へ発信！
普通の子育て中の女性が議員をやっているということで、東海テレビの方からニュースの取材がきました。テレビから女性をエンパワメント！任期中は他にも、朝日新聞、毎日新聞、神奈川新聞、BBC等各種メディアに活動をさまざまとりあげてもらいました!!!
「新聞に載っていたね！」
「テレビに出ていたね！」とよくお声がけを頂けるように✨

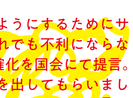


58 頻度の高い定期的な議会報告と発信
とにかく議会の仕事は知られていない！
ということで、ほぼ毎日発信し続けました!!



59 海外議員との交流
個人的に姉妹提携都市の議員や視察先の海外自治体議員と意見交換し、グローバルな視点で政策立案・提言をしています。

60 市民と気軽に話す場を作りました！
議員カフェ、としてカジュアルに市民が政治について語れる場を毎月開催💡**延べ100名近い市民が参加**してくれました。



61 若い世代に向け講演依頼を受けてきました！
高校や大学にお呼びいただき、キャリアとしての政治家について、ゼミや授業での講演を行いました。

鎌倉アップデートLetter

現職 鎌倉市議会議員

藤本あさこ

これからも取り組みたい50のアップデート

- ☑ 市民と政治を近づける！
- ☑ 政策決定方針を透明化しよう！
- ☑ 市民みんなで納得しながら政策推進！

まだまだいっぱい アップデートしようぜ！ みんなの声で！

燃える闘魂 全部見てよ スペシャル

4年間、市民のみなさんと一緒にさまざまな課題に取り組んできました

最後の一般質問の日、議会の傍聴になんと22名もの方が来てくれました！
赤ちゃんから学生から大人まで、みんなで鎌倉市への提言を見守ってくれました。
わたしの質問を見て「自分も政治家アリかも！」と思ってくれた中学生も✨
議員は身近な存在、みんな議会に来てね！！

TOPIC 市民のみなさんと一緒に政策提言してきたよ！

予算要望書の松尾市長への提出を、市民のみなさまと行いました！
基本的には議員のみで訪問することが普通ですが、どんな予算をどのような思いで要望しているか、市民の声を伝えたい、ということで、市民を連れての提出をご提案しました。快諾してくださった市長、また関係部署職員さんもご同席いただき感謝です！！

できることは沢山！ 引き続き活動していくよ～！

鎌倉アップデートチャレンジ

鎌倉市議会議員

鎌倉の明日をつくる、みんなの声で！

藤本あさこ

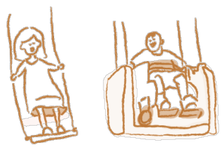
日々の活動報告 鎌倉アップデートチャレンジ

fjmtmaco　fujimoto_asako　fujimotoasako2021@gmail.com
Fujimoto_Asako　@618zlalm
討議資料　発行責任者：藤本あさこ

WEB SITE

＃こども・子育て

子育て支援のアップデート



提言済 - 公私立保育園のサービス統一化
→保育園が公立でも私立でも同じように負担軽減を！！
オムツの持ち帰り負担とかね

提言済 - 通所支援施設送迎サービスの整備
→保護者の送迎負担をなくして！

子育て支援はまだまだ改善余地あり

提言済 - 多子世帯の保育料無償化制度の拡充
→きょうだい児のカウントを見直して！
第一子が就学しても 第二子の保育園は無償化してほしい

提言済 - 保留児童向けベビーシッター利用補助金制度の創設
→ベビーシッター利用に補助を！まだまだ待機児童もいるんだから！

提言済 - 里親制度に関する啓発プログラムの実施
→里親制度に関する啓発をもっと！ちなみに藤本は里親登録しています！

提言済 - 一時預かり保育枠の拡大施策の実施
→保育枠の支援充実を！

提言済 - 予期せぬ妊娠者向け相談窓口の設置
→予期せぬ妊娠者にもっと寄り添って！
産み育てるだけでない選択も尊重してほしい

教育も民主的に作っていこう！みんなで！

＃学校教育

1 学校現場のアップデート

- 子どもの権利条約に基づく教育カリキュラムの策定
→子どもの権利条約を尊重した学校現場を！

提言済 - いじめ防止対策の強化（出席停止措置の基準策定）
→ 加害者の出席停止やカウンセリングも支援して！

提言済 - 校則見直しガイドラインの策定
→ 校則には当事者の声をいれて！

- 給食メニュー改善計画の策定
→ 給食無償化の前にメニューを改善して！

提言済 - 海洋教育・シビックプライド育成プログラムの導入
→マリンスポーツを通じた海洋教育・シビックプライド育成を！

2 支援体制のアップデート

提言済 - 通級指導教室送迎支援制度の創設
→ 通級指導教室への保護者の送迎負担をなくす仕組みを！
お隣の横浜市では、先生が学校を回ってくれるので、こどもが学校を移動する必要がありません✨

- 外国籍児童への入学手続き支援制度の確立
→ 就学案内の送付含め、入学手続きをもっと支援して！

- 下校時刻連動型防災無線放送システムの導入
→ 小学生の下校時刻に防災無線で地域に放送！
不審者情報の多い昨今、こどもの帰り道を地域で守ろう

細かいことだけど劇的に変わる！考えよう！

3 施設・設備のアップデート

- 学用品の学校備品化計画の実施
→さんすうブロック、コンパスに彫刻刀…共有にしてもよくない？
- 副教材の脱プラ、リユース化
→あさがおの鉢が陽に当たってマイクロプラスチックに…
- 男女別更衣室整備計画の策定

- 特別支援教育用学習補助教材の整備
→LD 児童などの利用する補助具を整備して！
- 体育館空調設備の設置
→体育館にエアコン設置を！避難所でもあるから喫緊の課題！
気候変動対策としての断熱機能向上も必要！

気候変動にも効果的な政策を！！

4 教職員制度のアップデート

提言済 - 教職員評価への同僚・児童・生徒評価の導入
→ 教職員の評価を 360 度評価にして！
生徒だけ一方的に評価され続ける関係性は健全ではないのでは？

提言済 - 小学校にもチーム担任制、教科担任制の導入を！
→ さらに保育園、幼稚園、小学校間の連携ももっと向上させたい！

提言済 - 校長評価制度の改革
→ 校長の求められるスキルや評価を視える化してはどうか？

- 教員特性理解研修の必須化
→ 教職員や学童支援員へ特性理解の研修を必須化にして！

- 校長公募制度の導入
→ 校長先生を民間から公募する自治体は全国に増えています！

- 発達サポーターの勤務の上限時間見なおし
→ 勤務の上限時間を増やして！

- 教育委員会関連会議のオンライン配信化
→ 現地にいけないけど傍聴に行きたいという声があるよ！

学校は子供の「学び」だけでなく「暮らし」の場でもあるよ

インクルーシブなまちづくり

1 インクルーシブな環境整備

- 市内公園をもっとインクルーシブに！
→ひとつの公園だけでなくほかの地域にも拡げたい！
- 避難所をインクルーシブに！
→多言語化、多属性化、バリアフリー化へ！
- 図書館もインクルーシブに！
→こどもに読み聞かせできたり、こどもたちが遊びに来れる場所にして！
- 公共空間における有害広告規制
→タブレットを使うようになったけどネットの有害広告はそのままでいいの？

2 市民参画の促進

提言済 - ユースクリニック設置の支援
→若者たちに必要な知識と場所を！

提言済 - こども若者議会の設置と予算編成権付与
→形式的ではなく、予算編成権を持つこども若者議会を！
当事者の声を反映させて！

提言済 - 市民ファシリテーター養成プログラムの実施
→ 地域を盛り上げるプレーヤーを増やそう！

提言済 - 18 歳投票権啓発事業の実施
→ 18歳になった市民へ「投票できるよ」カードを送付して

- 子連れ投票促進事業の実施
→子連れ投票をもっとおすすめして！

ぼくもわたしも政治に参加したくなるには

＃環境・持続可能な社会の実現

1 気候変動対策・環境保護

気候変動対策は待ったなし！鎌倉がリーダーシップを持って！

- 気候市民会議の開催と政策への反映
→ 気候変動に関する市民会議を開催して、環境政策へ反映させて！

提言済 - 海洋環境配慮型日焼け止め使用推進条例の制定
→ 海洋汚染につながる日焼け止めの使用を禁止して！

- ポイ捨て禁止条例の罰則規定強化
→ 形骸化したポイ捨て禁止条例の実効性を高めて！

2 観光振興・地域経済活性化

- 入場料・施設利用料の適正化
→観光資源の価値に見合った入場料や施設利用料を適切に設定して！
市民の税金で整備している環境を守って！

＃ ジェンダーギャップ是正

- 女性管理職登用推進計画の策定
→ 女性管理職が増える環境整備を！
「女性がやりたがらないんです」で終わらせないで！
- ジェンダー政策専門家の配置
→ 全ての政策にジェンダー視点は必要！
- 市刊行物等の表現ガイドラインの策定
→ 市で取り扱う資料のジェンダー表現に規定を！

まだまだ女性は活躍できてない

＃ 行政改革

1 政策決定プロセスの透明化

- EBPM 推進のための専門所管の設定やアドバイザー設置
→ EBPM（Evidence-Based Policy Making）=「証拠に基づく政策立案」
第三者視点で客観的に政策の合理性や妥当性の評価を！
- 政策決定プロセス公開の制度化
→ 政策決定プロセス公開を仕組み化し、常に市民にオープンに！
- 施策・事業評価指標の設定基準の改善と評価への市民参画
→ 政策の妥当性をはかる基準をより実効性あるものにし、必要な施策かどうか市民視点での評価を可能にして！

政策の妥当性もっとクリアになったらいいな

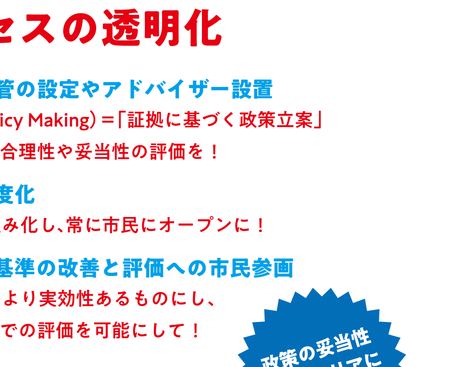
2 人事制度の改革

- 360度評価制度の導入
- ジョブローテーション制度の改定
→ スペシャリスト育成コースも作って！
- 庁内公募制度の導入
→ 市役所の部署移動における庁内公募制を導入しては？
- ジョブリターン制度の導入
→ 育児等で離職された方が戻ってこれる仕組みを！

行政職員の働き方の選択肢を増やして！

これからも取り組みたい50のアップデートに寄せて

Never Stop Challenging!



さまざまな政策提言をしましたが、根本の政策決定がどのようになされているかが、何より重要だと気づきました！
今後はそのプロセスを視える化し、市民や議会と話しながら合意形成していく、民主的な政策推進を実現したいです！

藤本あさこの政策実現までの道のり公開！

1 2021年6月
当選後すぐ、最初の議会にて公園整備に関する一般質問！

「社会全体としてインクルーシブな考え方、心持ち、行動原理が広がると良いと考える。インクルーシブ公園の整備が必要ではないか。」
と当選後間もない6月の議会登壇にて、最初に一般質問を行いました。

2月会派代表質問にて

2 2021年12月
市民向けに担当課も混ぜたワークショップを開催！

市民の参加者を募って意見を聞く会を開催しました！長谷の公園の愛護会運営者の方、市役所のみどり公園課の皆様、障害のある子を持つ保護者の方、教育委員会の方、地域で集いの場を運営する方や中学生などもご参加いただき、多様な視点で「鎌倉にどんな公園が必要？」という話をしました！

ワークショップにて
報告NOTEはこちら

3 2022年2月
議会にて 2023 年度予算にインクルーシブ公園の整備予算がなんと決定！！

実現まで時間がかかると覚悟していた予算承認ですが、今回の議会で以下が承認されました。①インクルーシブ公園の整備 ②オムツ持ち帰り処理費用 ③生理の貧困対策 ④青少年の新しい居場所作り … なんと史上まれにみるスピーディな政策実現が決定したのです！

2月議会にて
報告NOTEはこちら

4 2023に設計・工事を経て2024年1月
ついに！インクルーシブ公園OPEN！

「インクルーシブな場」という看板を立てたらどうか、遊具は木製にするなど環境配慮も必要ではないか、由比ガ浜エリアだけでなく全域の方にしっかり周知してほしい、学校の中での学びにも活用してほしい、など提案してきました。引き続きアップデートの提案を続けますので、ご意見募集中！！！

インクルーシブ広場にて